

(様式1-1) 社会資本総合整備計画 中間評価書(案)

1. 整備計画											
計画の名称		“ふじのくに”「命」を守る公園整備						交付対象		静岡県	
計画の期間		平成29年度 ~ 令和2年度									
計画の目標		発生が懸念される東海地震や東海・南海の三連動地震などによる災害から県民の命を守り、障がい者や高齢者、子供にも安全・安心に利用できる都市公園を創出する。									
計画の成果目標(定量的指標)		<ul style="list-style-type: none"> 県営公園の運動施設のバリアフリー化率を100%とする。 静岡県公園施設長寿命化計画における計画期間内の大規模施設(20,000千円程度以上)について、老朽化対策率を100%とする。 									
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考
		当初現況値		中間目標値		最終目標値					
		(H29当初)		(R1末)		(R2末)					
① 県営都市公園の運動施設のバリアフリー化率		89%		100%		100%					
② 老朽化対策率		0%		25%		100%					
③											
全体事業費		合計(A+B+C) 794百万円		A 794百万円		B 0百万円		C 0百万円		効果促進事業費の割合 C/(A+B+C) 0%	
事業種別		要素となる事業名(事業箇所)		事業内容(延長・面積等)		市町名		全体事業費(百万円)		備考	
公園		都市公園安全安心対策緊急総合支援事業(静岡県)		バリアフリー化		沼津市		150			
事業数		公園施設長寿命化対策支援事業(静岡県)		草薙総合運動場 庭球場照明設備等 8施設		沼津市、富士市、静岡市、吉田町、袋井市、浜松市		644			
2											
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)											
計画の移行なし		○		2		△		-		備考	
計画の移行あり		●		▲							
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 当事業により県営公園の運動施設のバリアフリー化が完了し、障がい者・高齢者スポーツの支援に寄与した。 老朽化施設を順次更新したことにより、利用者の安全と施設の機能が確保され、さらなる公園の適正管理・運営が可能となった。 									
II 定量的指標の達成状況		指標①(県営都市公園の運動施設のバリアフリー化率)		中間目標値		100%		目標値と実績値に差が出た要因		-	
				中間実績値		100%					
		指標②(老朽化対策率)		中間目標値		25%		目標値と実績値に差が出た要因		別途事業との調整により当事業の予算を計画以上に確保したため、対策工事の前倒しが可能な箇所から順次着手したことにより、実績値が目標値を上回った。	
				中間実績値		63%					
		指標③()		中間目標値				目標値と実績値に差が出た要因			
				中間実績値							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 愛鷹広域公園野球場はバリアフリー化により誰もが使いやすくなり、全国大会等の大規模大会を誘致しやすい環境になった。 定期実施しているアンケートでは総合満足度が向上している公園が多く、施設更新によるサービス維持・向上も関与していると考えられる。 愛鷹広域公園 総合満足度(5点満点):H28末 3.92、R1末 4.36 草薙総合運動場 総合満足度(5点満点):H28末 3.98、R1末 4.28 									
3. 今後の方針等											
老朽化対策事業において、継続工事の進捗管理を適宜行い計画期間内の完成(令和4年3月末)を目指す。											